

みずしるへ

M I Z U S H I R U B E

定礎式
特別号
2025.12



新丸山ダム定礎式

令和7年11月24日
岐阜県可児郡御嵩町小和沢

11月24日(月)、新丸山ダムの本体建設工事の本格化にあたり、ダムの安泰と永久堅固を祈願する「定礎式」を行いました。

当日は国会議員、愛知・岐阜・三重の各県知事、関係市町村首長、各県・市町議会議員、地元関係者ら約200名の方にご臨席賜り、地権者をはじめ本日に至るまでにご協力いただいた方々への感謝と、新丸山ダムがもたらす効果に期待する声を多数いただきました。

当日は天候にも恵まれ無事終えられたことに感謝するとともに、みなさまからの期待に応えられるよう今後一層気を引き締めて、安全安心を第一に工事に取り組んでまいります。



来賓祝辞

来賓祝辞

地元選出の国会議員や愛知・岐阜・三重県知事、また首長を代表して新丸山ダム建設促進期成同盟会会長である美濃加茂市長、ならびに建設地である八百津町長及び御嵩町長から祝辞を頂戴しました。



定礎の儀（礎石搬入）

定礎の儀（礎石搬入）

木曳音頭保存会（中津川市付知町）による木遣り唄に合わせ、ダム本体工事受注者とともに会場に礎石を搬入しました。



鎮定（ちんてい）の儀

鎮定（ちんてい）の儀

鎮定の儀には「これからの工事に道筋をつける」という意味があります。

総勢9名の来賓の方々に鎮定の儀を行っていただき、礎石の周りにスコップでモルタルを入れていただいたことで、礎石が固められました。



斎鋺（いみごて）の儀

斎鋺（いみごて）の儀

斎鋺の儀には「鎮定の儀でつけられた道を均（なら）す」という意味があります。

総勢7名の来賓の方々に斎鋺の儀を行っていただき、鎮定の儀で入れられたモルタルを鋺で均していただいたことで、礎石がより一層強固になりました。



斎槌（いみづち）の儀

斎槌（いみづち）の儀

斎槌の儀には「斎鋺の儀で均された道を更に強固にする」という意味があります。

5名の来賓の方に木槌で礎石をしっかりと打ち据えていただいたことで、永久堅固の願いが込められました。



埋納（まいのう）の儀

埋納（まいのう）の儀

埋納の儀とは、クレーンに吊るされたバケットからコンクリートを投入し、礎石と堤体が一体となるよう埋め込む儀式です。

5名の来賓の方がボタンを押されると同時にケーブルクレーンが移動し、バケットから礎石の上にコンクリートが自動投入され、礎石が堤体と一体となりました。



ダム式万歳三唱・くす玉開披

ダム式万歳三唱・くす玉開披

ダム式万歳とは、元々はダムの完成を祝う際に行っていたものです。

11名の来賓の方々による力強いダム式万歳三唱と同時に、10名の来賓の方々によるくす玉開披が行われ、ダムの安泰と早期完成を祈念しました。

メッセージストーン～こどもたちの意思(石)を込めて～



代表児童らの
メッセージ
ストーン

ダム本体の建設地である八百津町及び御嵩町の小学生に、コンクリートの材料となる骨材（碎石）にそれぞれメッセージを書きいただきました（7校約600名）。

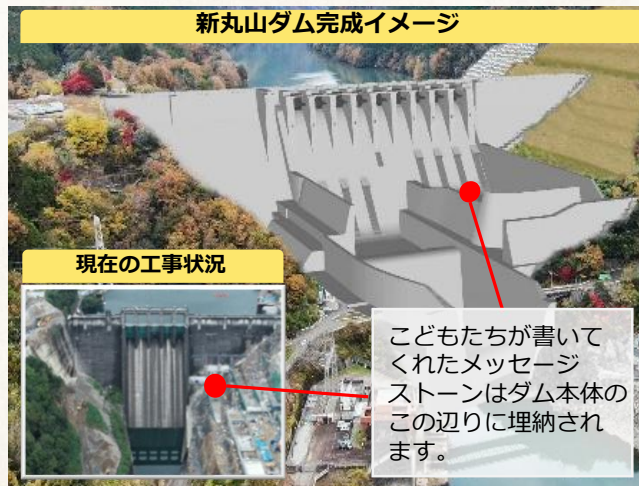
定礎式当日は各校の代表2名、計14名の児童がメッセージを読み上げ、その後、礎石の周りにメッセージストーンを置いていただき、未来への思いが託されました。

こどもたちの夢や希望が込められたメッセージストーンは、礎石とともにダムの礎となります。



代表児童によるメッセージストーン埋納

新丸山ダム完成イメージ



現在の工事状況



こどもたちが書いてくれたメッセージストーンはダム本体のこの辺りに埋納されます。

編集・発行

国土交通省 中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所
〒505-0301 岐阜県加茂郡八百津町八百津3351
TEL : 0574-43-2780
MAIL : cbr-shinmaru@mlit.go.jp

WEBサイト

<https://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/index.html>

SNS（公式X）

国土交通省丸山ダム管理支所・新丸山ダム工事事務所
@mlit_shinmaru